

四谷地区協議会だより

No.

8

第8号

平成 25 年 3 月発行



—ぼいす—
Voice

三栄町界限

ラジオ体操に参加する子ども達

10

11

12



10

11

17

交通安全イベント風景

新宿歴史博物館

須賀町界限

15

16

17



戒行寺坂

15

16

須賀神社

須賀神社に伝わる「鑞絵」
こてえ

ピンクのベストは女性
サポーターの目印です。
避難所でも目立ち好評でした。



詳しくは 4、5 頁の特集をご覧ください。



こんにちは町会長さん！

皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。
今回は**三栄町**と**須賀町**です。

(ご紹介する町会は町会連合会で随時決定されています)

Q1 地域の特徴・歴史をお教えください！

三栄町町会
戦争中の昭和18年、新堀江町・北伊賀町・筆筒町が合併して「三栄町」が生まれました。四谷区役所は明治末頃から昭和初期まで、今の三栄町25番地あたりにあり、その後大木戸に移りました。また、町内にある新宿区歴史博物館は特別展も面白く、訪れる人が絶えません。

須賀町町会
東京湾潮位から28mの高台の先端部に位置する関係で周囲に坂が多く、12の寺院と須賀神社があります。神社には新宿区指定有形文化財(絵画)に指定されている三十六歌仙絵、四谷の左官・吉田亀五郎作の「鏡絵」なども伝えられています。地震と火事だけが心配な閑静な住宅地です。

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白く話して教えてください！

三栄町町会
須賀神社例大祭、ラジコ体操、年2回のバス旅行等それぞれの行事に参加者、協力者が大勢集まり、例年大いに盛り上げられます。また、三栄公園前には江戸時代に設計されたクランク形状の道路が残っています

須賀町町会
毎年6月第1日曜日に須賀神社の例大祭が行われます。界限の町会も神輿をかつぎ、地域全体がひとつにまとまります。庄巻は、神社の境内までの急階段を登る神輿で、勇壮な姿を一目見ようと参道は人が埋め尽くされます。高齢者が増え、若者が減る状況ではありますが、お祭りに地域の絆を感じます。

Q3 最近どんな町ですか？PRをお願いします！

三栄町町会
現在の三栄町は建築ラッシュ。四谷税務署は改装中、建築中の複合公共施設には「清掃センター」「保健センター」「社会福祉協議会」「女性健康センター」「生涯学習館」「高齢者総合相談センター」等が入る予定です。民間マンションも数棟建築中。街の中心を東西に走る三栄通りの工事は、歩行者、高齢者に十分配慮した無電柱化、耐震構造のモデル道路となります。この完成と同時に、来街者も増え一層賑やかになることが予想され、劇的な発展と変身が楽しみです。

須賀町町会
将来、高齢者が増え、若者が減る状況ではありますが、お祭りに地域の絆を感じます。若い世代の先達である高齢者が声をかけ、お互いが助け合える「まちづくり」を夢んでいます。



四谷保健福祉施設・清掃センター等 完成予想図



四谷保健福祉施設・清掃センター等 完成予想図

防災特集

『多様性のある視点で避難所運営を考える』

●●● 地域防災関連の新たな取り組み情報を皆様にお伝えします ●●●

行政の声

『女性の視点で避難所を考える取り組み』について

～新宿区危機管理課～

東日本大震災では、避難所生活におけるプライバシーの確保など女性への配慮が課題となりました。国の防災基本計画においても女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置や生理用品・女性による下着の配付、安全性の確保など女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めることが定められています。

こうしたことを受けて、新宿区では、地域と連携した防災マップづくりや防災訓練などに積極的に取り組んでいる四谷第六小学校をモデル避難所として、女性の視点からの避難所運営体制づくりを行うこととしました。

はじめに取り組んだのは、「防災カフェ」の立上げです。町会婦人部やPTA、スクールコーディネーターなど地域の女性同士、気軽な雰囲気の中で様々な意見交換が行われ、女性の視点からの避難所のチェックも実施しました。こうしたことを受けて、11月23日、区内で初めての女性の視点を取り入れた避難所訓練が行われました。訓練では、四谷第六小学校避難所運営管理協議会を中心に、お揃いのピンクのベストを着た避難所運営女性サポーターを配置し、プライバシー保護のための間仕切りやテントの設置、小さなお子さん向けの防災教室、早稲田大学の村田教授によるワークショップも行われ、雨天にも関わらず大勢の方にご参加いただきました。また、はじめて訓練に参加された女性の方も多く、避難所での関係づくりもできました。

今後は、訓練の検証や参加者の意見をとりまとめ、四六小避難所の運営マニュアルに反映させるとともに、平成25年度からは、女性の視点を取り入れた避難所運営の体制づくりを区内全地域の避難所で実施していきます。



訓練当日に開催された村田先生のワークショップは活発な意見交換の場となりました。

しんじゅく女性団体会議の声

第6回 しんじゅく女性団体会議主催

公開講座

「災害時に女性が地域で活躍するためには」が開催されました！

2月8日(金)男女共同参画推進センター(ウイズ新宿)にて、早稲田大学 村田晶子教授による講演会・ワークショップが開催されました。

講演では、今回の震災では避難所対策や生活再建対策、復興対策などさまざまな局面で女性、多様性の視点が欠落していたという話があり、具体的には、物資をわける人に男性が多く、若い女性は生理用品を取りに行けなかった、また下着もサイズに関係なく一律支給であったことなどです。東日本大震災で避難所となった「ビックパレットふくしま」では、日本で初めて女性専用スペースが設けられました。ただし、避難所に必要なのは女性を含めた多様性の視点であり、そのためには日常の中で男女共同参画に取り組んでいくことが重要であると力強く話されていました。

続く、ワークショップでは7つのグループに別れた意見交換が行われました。各グループで驚くほど活発な意見が交され、地域防災に対する意識の高さを感じられました。最後に村田教授は「女性はコミュニケーション能力が高い。これを活かして、関係機関に皆で声をあげていくことが大切である」と締めくくられました。



村田 晶子 教授
プロフィール
●早稲田大学文学学術院教授
●早稲田大学ジェンダー研究所所長
専門は社会教育学。
●『復興に女性たちの声を [3・11] とジェンダー』(2012年早稲田大学出版部) 編集著者
●第4期(平成22年7月15日)から新宿区男女共同参画推進会議の会長を務める。

わがまち四谷 再発見!

四谷地区協議会 観光まちづくり実行委員会が
楽しい「まち歩きツアー」のお手伝いをします!

町会で! 子ども会で! 高齢者クラブで!
マンション理事会で!

自分たちの町「四谷」をめぐる、まち歩き計画を立てませんか?
地域活動ならではの地元密着型のご案内をさせていただきます。一緒に四谷スイーツも楽しみましょう。

●詳細は四谷地区協議会事務局にお気軽にご相談ください!

- コース目安 2時間2キロメートル以内程度
- 参加者人数 4名～15名程度
- ガイド料 無料
- ※ただし入館料等の実費はご負担いただきます。



P.C.を使った説明も好評

四谷地区協議会 平成25年度「内藤とうがらしプロジェクト」

四谷地区協議会の内藤とうがらしプロジェクト
キャラクター「ないトーン一家」がお届けする
HOT情報!

- ◆昨年度、四谷で収穫された八房とうがらしの種から苗を育成しています!
- ◆八房とうがらしの苗を100円で販売します!(新宿区民の方なら申込み可能)
- ◆希望者に内藤とうがらしの育て方、楽しみ方がわかる小冊子を差し上げます!

- 配布日/平成25年5月18日(土) 10:00～14:00まで(当日以外の配布はいたしません。)
- 配布会場/四谷ひろば(旧四谷第4小学校)新宿区四谷4-20
- 申込み方法/往復はがきのみでの申込みとなります。記載例を参考に記入いただき(電話申込み不可)お申込みください。 ※ただし一家族2苗まで。応募者多数の場合抽選。

往復はがき記載例

| 往信(表)宛先 | 返信(裏) | 返信(表) | 往信(裏) |
|--|-------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 〒160-8581 新宿区内藤町87 四谷特別出張所内 | (無記入) | <input type="checkbox"/> 〒 申込者住所 | ①〒住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号 ④希望数 1苗もしくは2苗 |
| 四谷地区協議会行 (内藤とうがらし) | | 申込者氏名 | |

●受付期間/平成25年4月8日(月)～平成25年4月26日(金) 消印有効
「種から育てとうがらし」プロジェクト
社会福祉協議会の東日本大地震義援金に、ご協力いただいた方には種をプレゼント!
※詳しいお問い合わせは事務局まで。

課題解決の検証を地域防災訓練実施時に実際に行いました！

第3回のワークショップで取り上げられた意見を抜粋し、解決法案を参加者で検討し、さらに表中●を実際に訓練内で検証しました。

| 項目 | 課題 | 解決方法(案) |
|----------|-----------------------|--|
| トイレ | 外の仮設トイレの見直し | ●設置場所を玄関付近に変更する。 他 |
| | 高齢者のトイレへのアクセス | ○洋式便器の設置 他 |
| 施設 | 屋上のスペースの有効活用 | ○女性専用の洗濯やシャワーなどのスペースにする。 |
| | 高齢者（足の不自由な人）の対応場所について | ●体育館などに椅子を並べて対応する。 他 |
| 女性専用スペース | 体育館の利用方法を考えたい | ●ステージにカーテンを引き、その中に着替えスペースや授乳スペースを作る。 |
| | 学校内の一部に女性専用スペースを作りたい | ○一部のスペースを女性専用にする ○各フロアに一つずつ女性専用スペースを作る。 |
| その他 | 女性スタッフエリアの設置 | ○スタッフ専用スペースの設置を検討する。 |



体育館のステージを活用した女性スペースの検証



間仕切りを活用したプライベートスペース設営体験



軽量テントを活用したプライベートスペース設営体験

「防災カフェ」（通称：よつろく女子会）メンバーの声

- ◆ テント設営や間仕切りの設置などが女性でも対応できるとわかり良かった。
- ◇ 実際に訓練に参加して避難所の様子がわかり、仮設トイレ・テントの組み立て作業も体験できてよかった。
- ◆ ピンクのジャンパーを着た避難所運営女性サポーターの役割を訓練しながら考えたり、認識できてよかった。今後もこのような機会を広げていきたい。
- ◇ 「防災カフェ」で話し合われたことの検証ができ有意義だった。現実では訓練のようにならないだろうが、状況に応じた対応が大切だと痛感しました。
- ◆ 避難所優先順位（部屋割り等）が多様な考え方により、違うこともあると伺った。避難経験者に話を伺えると勉強になると思います。
- ◇ 「自分のことは自分で守る」意識を子どもにも持たせようと思います。被災時に避難所へ行かなくてもよいよう自宅に対処できる準備を見直しました。
- ◆ 幅広い年齢層の方の意見を伺い、避難所改善を検討したほうがいい。

四谷中学校地域協働学校 防災コーディネーターの声

中学生にできる役割を自覚する目的で四谷地区全避難所訓練に参加しましたが、四谷第六小学校の避難所訓練では多様な視点の一つとして意義ある参加ができた。今後は、中学生と一緒に教師、保護者も積極的に参加し、様々な視点で危機管理を検討できるよう地域で盛り上げることも大切だと思う。行政頼みにならない自助・共助の推進を地域の手で進めていきたい。

四谷地域の防災訓練のお問い合わせ

四谷特別出張所 〒160-8581 新宿区内藤町 87 番地 電話：03-3354-6171
 新宿区危機管理課 〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1-4-1 電話：03-3209-1111 (代表)

あらたなとりくみが始まっています！

平成 24 年度四谷第六小学校避難所運営管理協議会の取り組み

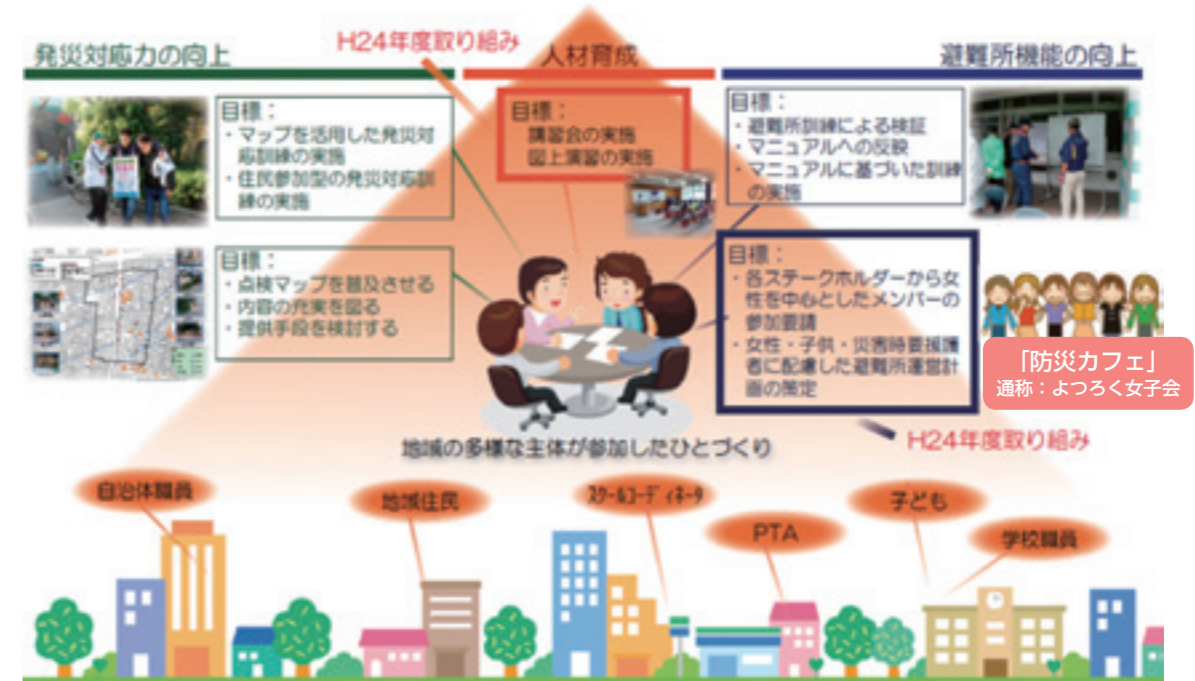
防災カフェ

～「防災カフェ」：女性の視点で避難所運営を考え、語り合い、訓練で検証～

近年の地震災害の経験を踏まえ、女性・子ども・災害時要援護者に配慮した避難所運営について、重点をおいて検討する必要性が高まりました。本特集では区内全地域に先駆けた四谷第六小学校の避難所運営協議会の取り組みをご紹介します。

編集：四谷地区協議会「防災・地域安全」プロジェクト

「防災カフェ」は避難所運営管理協議会の活動の中で意見を率直に交換する場です。



女性が集まり「防災カフェ」を開催し、学び、話し合いをしました！

地域の多様な主体（地域住民、学校教職員、PTA、スクールコーディネーター、自治体職員など）から集まった女性約 20 名を中心としてワークショップを開催。災害時に女性が抱える様々な問題が活発に意見交換され、参加者の間では「防災カフェ」を親しみを込め「よつろく女子会」と呼ぶようになりました。

| 日程 | 内容 |
|---------------|--|
| 第1回 7月17日 | 過去の地震災害において発生した女性や子供に関する事件などについて事例が紹介され、避難所等における女性・子どもへの問題について意見交換をしました。 |
| 第2回 8月24日 | 避難所マニュアルの内容を確認した上で、実際に仮設トイレの設置場所等学校を見学し、女性や子供にとって安心して使うことができるかを確認。さらに避難所利用計画を参考に、どのような見直しが必要かについて意見を出しあいました。 |
| 第3回 10月22日 | 第1回、第2回で得られた課題に基づいて、どのような対策が必要かを検討し、さらにその中で何が訓練時に検証できるかについて話し合いを行いました。 |

※防災カフェについての資料提供：工学院大学

教えて地区協!

太陽光発電システムの助成について、 区の環境対策課に聞きました!

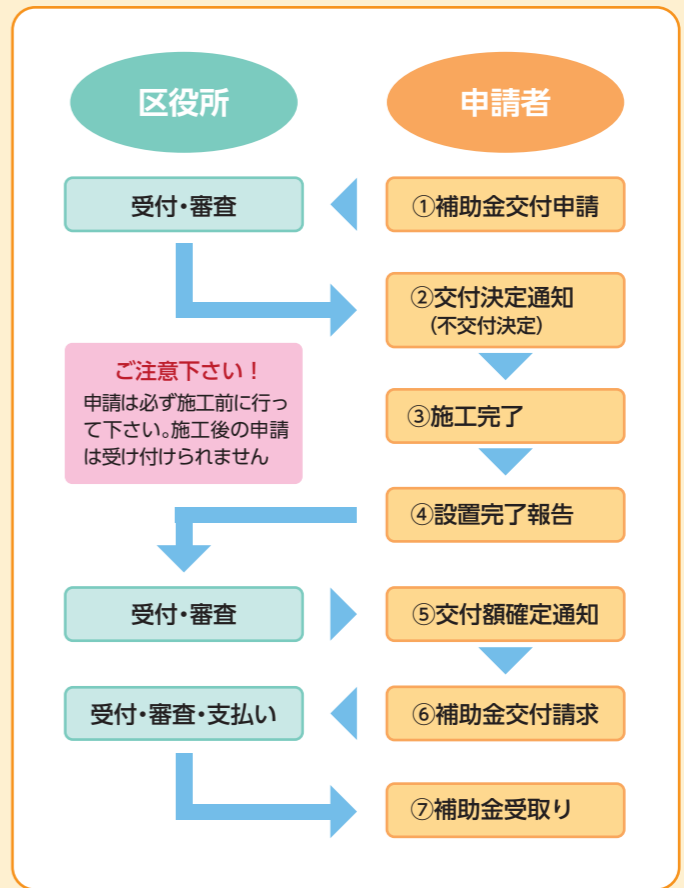
声

「最近、新聞・テレビなどで見かける太陽光パネルを我家にも設置したいのだけれども費用負担がなかなか…」
電気代の高騰や環境を考えて、太陽光パネルの設置を検討している人が増えています。そこで、新宿区の助成金について、区の環境対策課にうかがいました。

Q1 太陽光発電システムは価格が下がり、現在1KWあたり40万円が設置料の相場といわれているとのこと。
新宿区ではその設置費用の一部を負担してくれる助成金があるのでしょうか、どんな制度ですか?

A 新宿区では、CO₂排出量の削減とヒートアイランド現象の緩和に向けた、さまざまな環境対策をおこなっています。そのひとつが、「新宿区個人住宅用新エネルギーおよび省エネルギー機器等導入補助金制度」です。個人住宅で、条件をクリアした太陽光発電システムなどを導入する場合は、発電量1KWあたり10万円(上限30万円)を助成しています(平成24年度)。

図：補助金交付の流れ



Q3

国の補助や都の補助など、ほかの助成金制度との併用は可能ですか?

A 国からは平成24年度実績で、システム価格によって1KWあたり3万〜3万5千円の補助が、同時に受けられます。ほかに24年度までは都の補助もありました。

Q4

そうして設置した場合、電気代はどの程度節約できますか?

A パネルの大きさや、日照時間などによって、ケースバイケースです。実際に導入した区民へのアンケートをおこなったところ、「電気代の節約になった」「天気予報を家族で気にするようになり、会話がなくなった」といったメリットがある一方、「設置費用が思ったより高い」「保証期間内(10年)に元が取れるか心配」というデメリットをあげる声もありました。とくに密集地が多い区内は、日照が確保できずに、導入を計画したものの断念するケースも少なくありません。区への補助金の申請は、パネルの設置業者に委託してしまう人が多いようですが、そうした申請も本人が足を運んで、十分にメリットデメリットを理解した上でおこなっていただくことをおすすめしています。

● 申込方法等お問い合わせは
新宿区環境対策課エコライフ推進係
☎(5273)4267

転ばぬ先の ストレッチ教室

「おじゃましてーす!」
若葉地区会場編

(開催日時: 第2・第4水曜日 10時〜11時)

たくさん坂に囲まれた若葉地区。どこに行くにも坂を上り下りしなくてはならず、家にこもりがちが高齢者も多い地域です。そこで高齢の方が運動できるきっかけを、と3年前、四谷地区協議会が住人の方の協力で、マンションの集会場をお借りして始めたのが「転ばぬ先のストレッチ教室」の若葉地区教室です。

「がんばって無理せずに、長続きすることを目的としています」と、講師の蔭山雅之先生が話す教室は、リクレーションの要素も取り入れて楽しく体を動かせる軽い運動が中心。「簡単な運動を通して、いつもは使っていない筋肉をストレッチ。知らず知らずのうちに筋肉を鍛え、転びにくくなり、骨折しにくい体を作っていきます」。そう、先生も胸を張ります。



やってみよう!

蔭山先生がおすすめ! 足腰を丈夫に! ハードルエクササイズ

無理なく足腰の筋肉を鍛えられる、そんな簡単なエクササイズをご紹介します。ハードル選手のようなポーズで足腰を鍛える、名付けて「ハードルエクササイズ」です。

① どちらかの足を伸ばし、もう一方の足を外側に折った状態で座り、伸びたほうの足の膝に、両手を添える。



② 膝に当てた手を押しながら、リズムカルにおへそを前後に揺さぶる。腿のうしろの筋肉を伸ばすように。



③ ハードル選手のポーズがむずかしいときは、一方の足を立て膝にしてもOK。同じようにおへそを前後に。



〈ご注意〉
※無理に股関節を広げすぎないように気をつけましょう!

ただ今、四谷地区協議会の健康体操年間カレンダーを四谷特別出張所・四谷ひろば等で配布中です。

あなたの声 四谷を変える!

第5期 四谷地区協議会委員 募集

区民の区政参画の場 地域課題解決の場

1. 活動の内容 (下記の分科会、広報担当、課題別プロジェクトがあります)

- ①まちづくりを考える (地域課題・歴史・文化・自治・観光まちづくり)
- ②健康で安心なコミュニティづくりを考える (子ども・高齢者・健康)
- ③生活環境・まち美化を考える (みどり・環境・リサイクル)
- ④広報担当 (協議会広報誌「声」の発行)
- ⑤課題別プロジェクト防災・地域安全 (分科会と並行参加可能)

2. 応募できる方及び募集人数 (団体推薦枠は各団体に依頼中)

- ・四谷地区 (四谷特別出張所管内) に在住・在学・在勤、または四谷地区で活動している方。
- ・公募30名程度 (任期2年。無報酬)
- ※応募多数の場合は調整させていただきます。

3. 申込期限 平成25年4月19日(金)までに下記事務局までご提出ください。

4. その他
今までの活動や会則等については四谷特別出張所のホームページ、および協議会広報誌「声」、新宿区HPキラミラネットをご覧ください。なお、四谷特別出張所にパンフレットを用意してあります。

これまでの主な活動

- 四谷お宝さがし
- 観光まちづくり活動
- 健康体操講座の運営
- 花いっぱい、まち美化活動
- 内藤とうがらしの普及
- 地域・環境関連勉強会
- 協議会広報誌「声」の発行

申込み・問合せ先

四谷地区協議会事務局
新宿区内藤町87番地 (四谷特別出張所内)
TEL 3354-6171
FAX 3350-9403

四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介～



5周年記念誌のご紹介

四谷に眠るお宝を発掘する「四谷お宝さがし」がスタートしたのは2008年。その年から1年に一度、応募されたお宝を紹介する発表会を開催し、2012年3月におこなわれた発表会で、第5回を数えるまでになりました。

5周年を記念して、四谷お宝さがし実行委員会は、これまでのお宝を一堂で紹介する「四谷お宝さがし5周年記念誌」を発行しました。この記念誌は過去5回の発表会の目録と活動をまとめたもので、歴史的価値のある貴重な芸術品から、出品者が子供時代、大切に使用していたアルミのお弁当箱といった思い出の品まで、全部で122点のお宝が紹介されています。

出品されたお宝は、物だけに限りません。信濃町の文学座や、もともち公園の石垣など、これまで多くの名所旧跡も紹介されてきました。これらは実行委員が四谷を探訪しお宝として紹介したのも多く、この活動はその後「四谷観光まちあるき」にもつながっています。

また第4回のお宝さがし発表会からは、一般募集とは別に、四谷の文化財ならぬ“商業文化財”ともいえる商店の現状や歴史を取材する、お宝さがし実行委員会企画もスタート。「四谷の文房具店」や「四谷の銭湯」といった独自の視点で取材したお宝も、記念誌には収録しました。

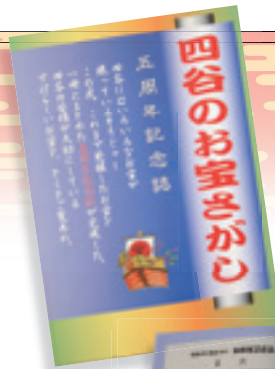
有名になったお宝といえば、第1回お宝さがし発表会で、「四谷家宝賞」に輝いた「すくすくサボテン」。民家の屋根の高さまで育った、若葉三丁目の大きなサボテンです。お宝さがし発表会で紹介されたのをきっかけに、メディアにも広く取り上げられ、同時に四谷お宝さがしの名を世に広めてくれた町のお宝でした。ちなみに、通行人の誰もが、その前で足を止めたサボテンは、その後台風で倒れ、伐採を余儀なくされましたが、町の記憶として語り継がれています。

そんな地域の人たちの、四谷への思いがたくさん詰まった5周年記念誌は四谷特別出張所と四谷図書館で閲覧できます。

実行委員長のコメント

この記念誌は、お宝さがし実行委員会の5年間の活動の集大成ですが、いつの日か記念誌自体が地域の「お宝」として紹介される日が来るかもしれません。その日までたくさんの方に閲覧いただき、四谷の良さを発見するきっかけになることを願っています。

四谷お宝さがし実行委員長 豊村 泰彦



◆出品された全122点をカラー写真で収録



◆それぞれのお宝にまつわる、出品者の裏話なども紹介



◆お宝さがしの活動を紹介した新聞記事も掲載



◆「すくすくサボテン」は第一回で紹介

編集後記

皆様の疑問は四谷の疑問。“教えて地区教”コーナーでは、日々の生活の中で「？」に思うことを「声」編集委員が関係機関に直接伺って解決の糸口を探り、「！」になるよう解りやすくご説明しています。ご質問お待ちしております！

編集・発行

四谷地区協議会【事務局】(四谷特別出張所内)
〒160-8581 新宿区内藤町 87 番地
電話 3354-6171 FAX. 3350-9403
E-mail : <http://www.city.shinjuku.lg.jp>

次号は平成25年10月発行予定です。



四谷地区協議会では、多世代交流の場づくりとして「なんげんトープ」を活用しています。

★みんな集まれ! なんげんトープ★

5月23日(日)は15:30に現地なんげんトープに集合!!

新宿区によりみなみももち公園(南元町20番地)に*ピオトープ「なんげんトープ」が開設され、1周年を迎えます! *ピオトープ=生物生息空間
今回は……

- ★清掃と「内藤とうがらし」の苗の植樹を計画しています!
- ★ご参加くださいました小学生以上の方には「内藤とうがらし」の種を進呈します!
- ★お申込み不要。当日現地にご集合ください!

※泥で汚れても良い服装でご参加ください 持ち物: スコップ・軍手・タオル(汗拭き用)
小雨でも雨天は順延となります。詳しくは事務局へお問合せください!